

手すりKMタイプ

I型 KF-M10
 L型 KF-M20L(R)
 紙巻器付 KF-M10WL(R)

商品の機能が100%発揮されるよう、
 本説明書の内容を十分ご理解のうえ
 正しく施工してください。

●商品図

KF-M10

KF-M20L ※この図はL仕様をあらわします。

品番	仕様
KF-M20L	L仕様
KF-M20R	R仕様

KF-M10WL ※この図はL仕様をあらわします。

品番	仕様
KF-M10WL	L仕様
KF-M10WR	R仕様

⚠ 注意

- 必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。
 ※誤った施工方法をされた場合、商品が外れ、ケガをする恐れがあります。
- タッピンねじを使用して乾式施工の壁に取り付ける場合は、タッピンねじ固定位置にねじ込み深さが30mm以上になるように取付木（補強木）を設けてください。
 ※商品及び取付部の壁が破損し、ケガをする恐れがあります。
- AYボルトを使用する場合は、コンクリート層に確実に固定できる長さのAYボルトを用いてください。（推奨：AY-84）
 ※モルタル層などで固定すると十分な強度がでないため、ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。
- 屋外や浴室など、水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。
 ※部品の腐食により手すりが折れやすくなりケガをする恐れがあります。
- 手すりにぶら下がらないでください。
 ※商品及び取付部の壁が破損し、ケガをする恐れがあります。
- 手すりに強い衝撃を与えないでください。
 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。
- 手すりに強い応力が加わった状態で取り付けしないでください。
 ※商品が破損したり、ケガをする恐れがあります。
- ペーパーホルダー部を手すりとして使用しないでください。
 ※商品が破損したり、ケガをする恐れがあります。
- この手すりは長さ調整ができません。木とステンレスを固定しているネジは外さないでください。
 ※商品が破損したり、ケガをする恐れがあります。

●施工前のご注意

- 商品は壁面に固定してご使用ください。
- 油などの汚れが付着した手で手すりを握らないでください。
- 落下防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件をお守りください。

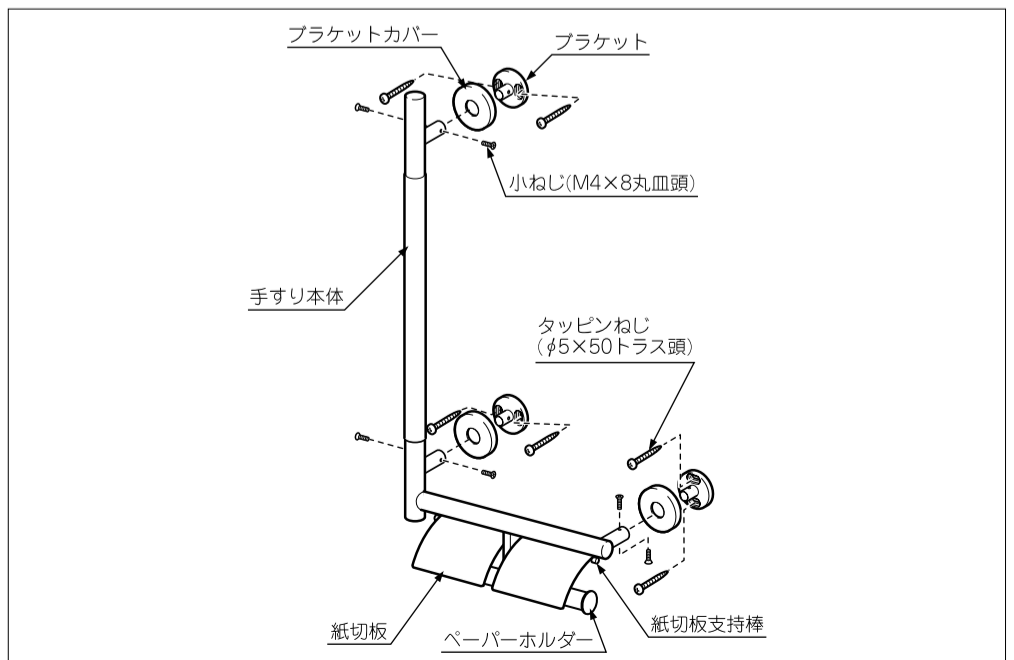
〔乾式壁の場合〕

- 取付部材として付属のタッピンねじを使用してください。
- ねじ込み深さが30mm以上になるように補強木を設けてねじ込み深さを確保してください。
 ※取付木（補強木）は柱または間柱に固定してください。
- 石こうボード等のボード張りにはタッピンねじはききません。必ずあらかじめ壁裏に取付木（補強木）を入れ、ねじ込み深さを確保してください。
- ボード張りの厚さは12.5mm以下を想定しています。厚さが12.5mmを越える場合は、越えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。
 ※付属のタッピンねじ長さは50mmです。

〔湿式壁の場合〕

- 取付部材として、右表のようなAYボルト（別売）を使用してください。
- | | |
|-------|---------------|
| AYボルト | 下穴 |
| AY-84 | φ8.5~9.5×70mm |
- 下地材はコンクリートとし、取付部の奥行きは70mm以上（コンクリートの厚さは40mm以上）を確保してください。
 - 壁仕上材（モルタル、モルタル+タイル等）の厚さは20mm以下としてください。
 - ALC板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。
 - 木ずり下地、ラスボード下地への取付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木（補強木）を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

●各部の名称



●安全上のご注意

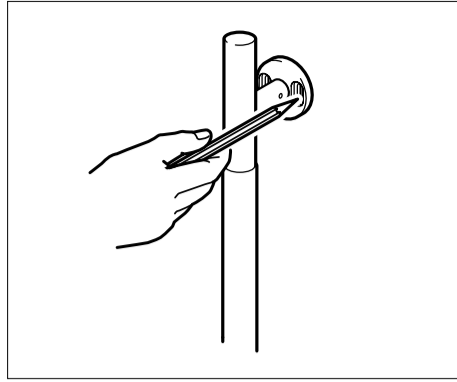
- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 注意** …… 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
- …… 「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
 - …… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
 - …… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
 - …… 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

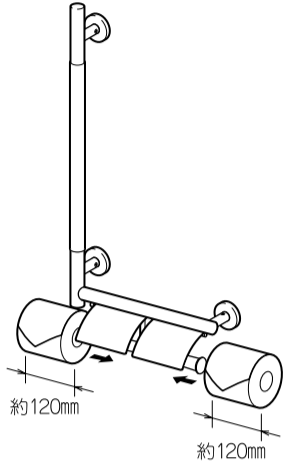
●施工方法

(1)手すりを取付面にあて、取付穴の位置に
しるしをつけます。



⚠注意

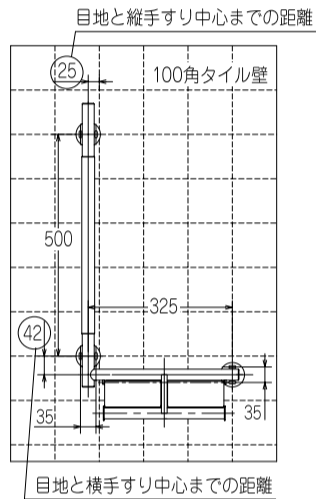
紙巻器付手すりを取り付ける場合は、
本体の左右にペーパー交換用のスペース
(約120mm)を確保してください。



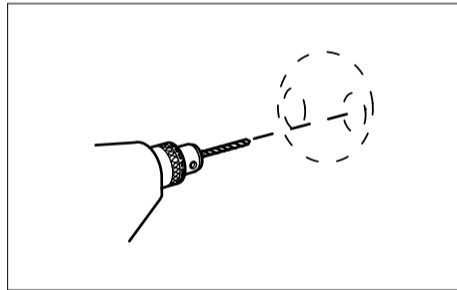
ポイント

〈100角タイル壁への施工〉

※紙巻器付手すりは目地の縦横からずれま
すが、取付ねじ位置を右図のように目地
に合わせて施工することができます。

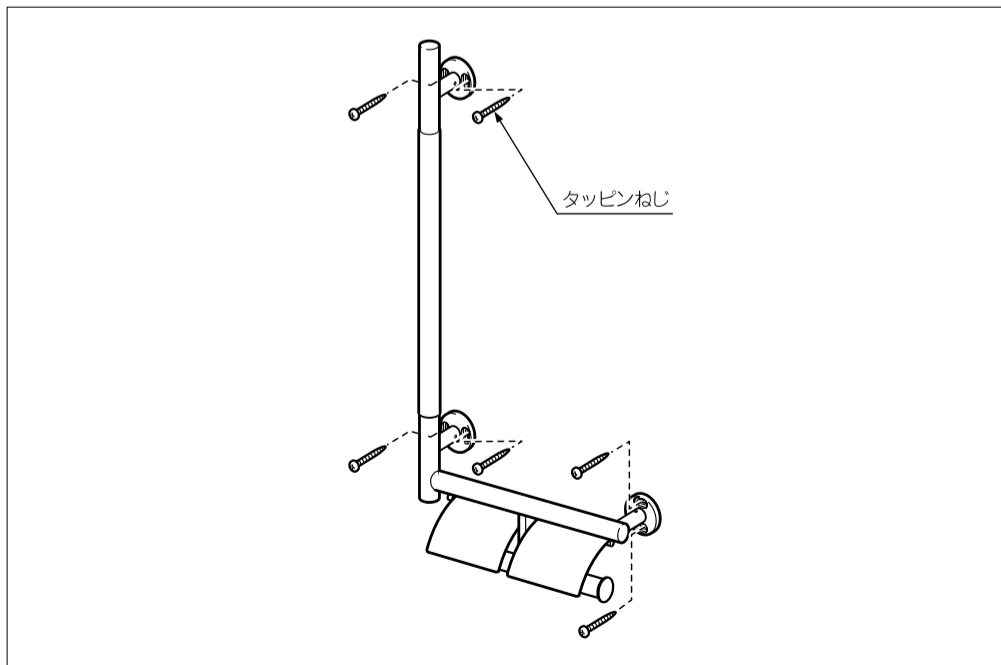


(2)しるしをつけた位置に下表のとおり下穴
をあけます。

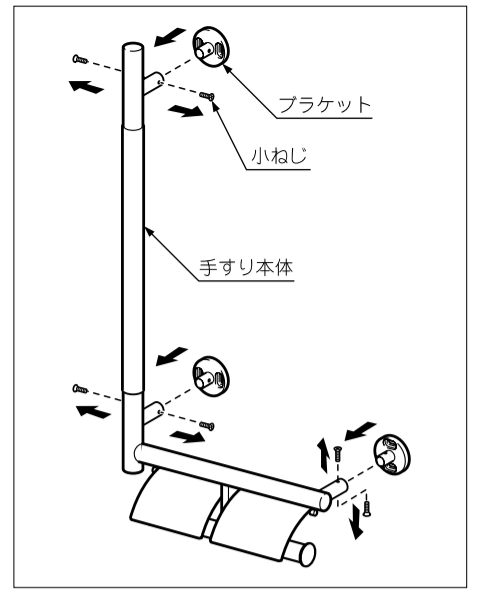


	取付ねじ・ボルト	下穴寸法	備考
乾式壁 の場合	タッピンねじ (φ5×50)	約φ3.5×50	付属品
湿式壁 の場合	AY-84	約φ9×60	別売

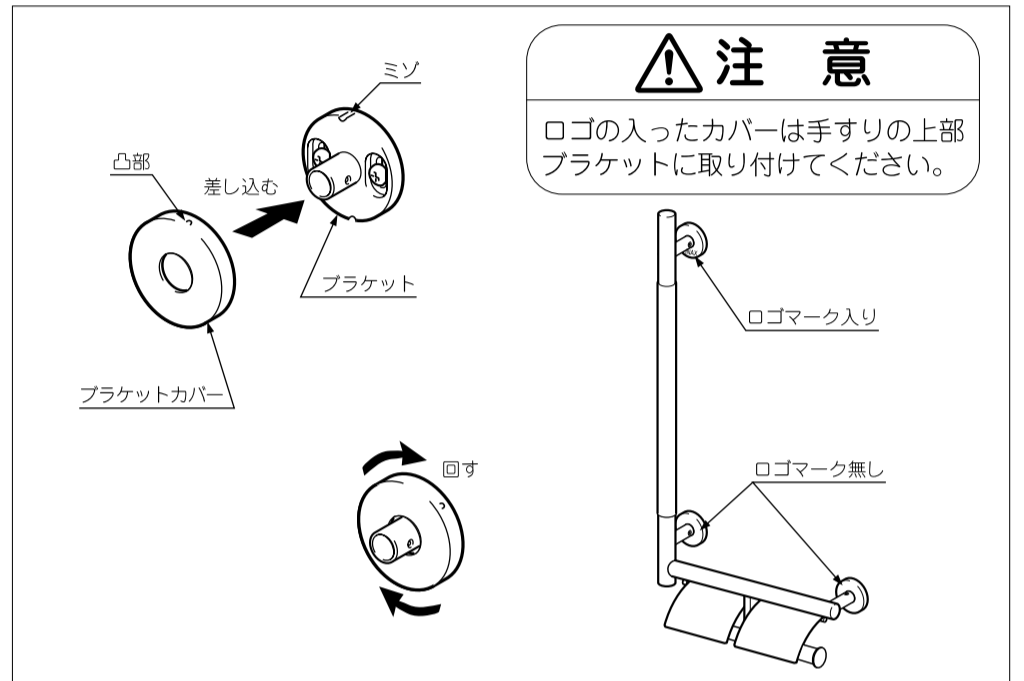
(3)タッピンねじまたはAYボルトで、手すり本体を取付面に取り付けます。



(4)小ネジを外して、ブラケットと手すり本
体をいったん分離します。
※小ネジ(M4×8丸皿頭)をなくさないよ
うにご注意ください。



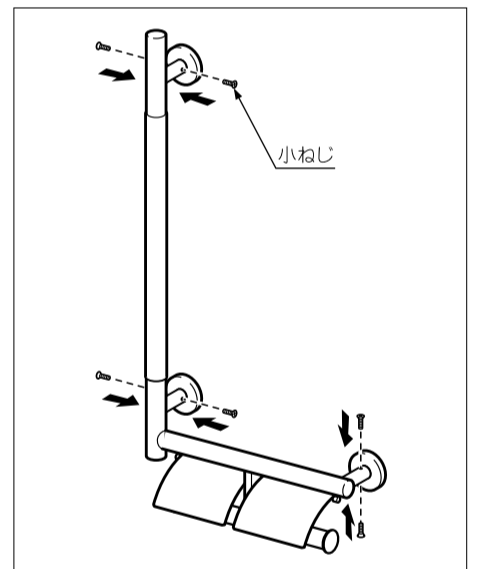
(5)ブラケットのミノ部にカバーの凸部を合わせ、ブラケットにカバーを装備し、45度
回転させてください。



⚠注意

ロゴの入ったカバーは手すりの上部
ブラケットに取り付けてください。

(6)再び小ネジでブラケットと本体を固定し
ます。
※小ネジ(M4×8丸皿頭)をなくさないよ
うにご注意ください。



●施工後の注意

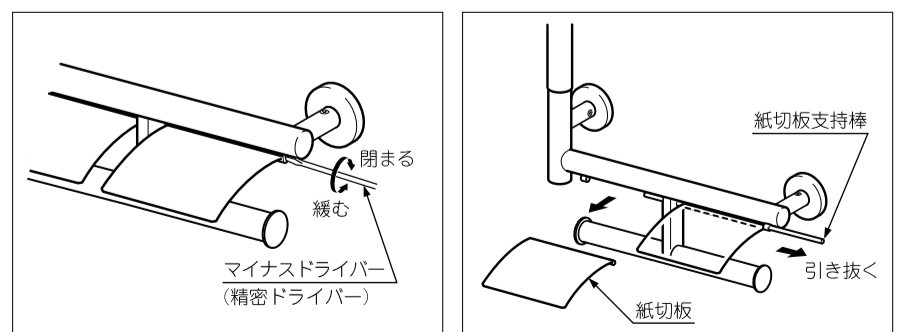
手すりががたつきなく、しっかりと壁に固定されていることを確認してください。
お手入れの方法等を記した同梱の注意タグは、必ず最終使用者の手元に渡るようにし
てください。

●別売品

品名	品番	入り数	材質
紙切板	75-1578	1	ステンレス
ブラケットカバー(ロゴ入り)	75-1577-1	1	ステンレス
ブラケットカバー(ロゴ無し)	75-1577-2	1	ステンレス
紙切板支持棒	75-1579	1	ステンレス

※紙切板の交換方法

マイナスドライバー(先端巾3mmの精密ドライバー)で紙切板支持棒を緩めて引き抜くと、紙切板が外せます。交換後、再びマイナスドライバーで支持棒を固定してくだ
さい。



※手すりの横にスペースがなくて、紙切板支持棒が引きぬけない場合は、手すり本体
をいったん壁から取り外してから作業してください。